

耶麻農高 農場便り

# あ・ぐ・り

Agriculture～農業～

## 第24号

平成23年7月20日発行

発行責任者  
農場長 星久一郎

### 野菜部門

今年度は、ナス・キュウリ・ピーマン・シシトウ・オクラ・ズッキーニ・トマト等を作付しました。

現在は、キュウリ・ナス・トマトが収穫時期を迎えており、収穫作業に毎日追われています。夏休みも野菜販売を行いますので、保護者の皆様ご希望の方は生徒を通じて、ご購入下さい。生徒が一生懸命作った「安全で新鮮な野菜」は格別、美味しいですよ。

プロジェクト学習では、3年生は、ミニトマト・ピーマン・エゴマの生育調査を行っています。今のところ順調に野菜も成長しています。2年生は、ナス・トマト・スイカの生育調査を雨にも負けず、暑さにも負けず、毎週行っています。

少しでも多くの安全な野菜を皆さんに提供できるよう、今後も生徒と一緒に汗を流し、栽培していきたいと思えます。



### 農場長より

今年は学校運営ビジョンに示されているように地域との連携を大切にし地域に貢献できる農場を目指し努力しているところです。喜多方市の「花でもてなす街作り」の依頼で喜多方駅前や喜多方市役所前の花のオブジェの飾り付けを行いました、他にそば資料館の花壇の植え付けなど行っています。小学校農業科の連携校、山都藤巻地区活性化の赤筋大根栽培の協力などがあげられます。本年度は新たに、国内唯一の栽培地である本校の青いカーネーション栽培研究の3年間延長が認められ、栽培に関し研究テーマに取り組んでいるところです。また、そば打ちの学習を授業に取り入れることとなりました。



### 作物部門

今年の原発事故による放射能の影響で、農産物については先々が予測できない状況ではありましたが、本校農場としては計画どおり進めているところです。全校田植えも天候に恵まれ、お昼の弁当も美味しくいただきました。翌日は山都小児童90名の田植え交流事業が行われ、高校生は3年の専攻生が小学生の間に入り一緒に田植えを行いました。また、そば打ちの授業が開始されました。山都そば協会の協力を得ながら、科目課題研究において8名の2年生が、年間6回の授業と毎週水曜日の放課後部活動として実施し、3月に山都町で行われる素人そば打ち段位認定試を目標にして取り組みます。



### 草花部門

早いもので今学期も終了しようとしています。

この期間で3カ所のオブジェを完成させました。お楽しみください。制作に時間がかかり、皆様まで花を届けることができなかったことが残念です。



### 畜産部門

今年度は、肥育牛の出荷頭数は6頭でそのうち4頭が6月に出荷を終えました。出荷した肥育牛は等級でA-4が2頭、A-3が1頭、A-2が1とどれも肉質・歩留が良好でした。昨年比べて震災の影響で牛肉のセリ値が安く大きな打撃を受けました。また、相馬農業高校からは繁殖牛2頭の一時避難における受け入れを行うなど震災の影響が出ています。

本校の繁殖牛では相馬農業高校からの牛を含め4頭になりました。また、7月4日には評価成績高得点の「たかくに3」が雄の子牛を生み順調に生育しております。写真はその子牛の「耶麻高30」です。



### 農業クラブより

震災の中一致団結することで全ての行事を遂行することができました。県大会出場者 意見発表区分食料・生産産業技術科1年 岡田陽香、区分環境産業技術科3年 小瀧一輝、区分文化・生活産業技術科1年 新明美沙希 家畜審査競技肉牛の部 産業技術科3年 長谷川千宝 産業技術科1年 蓮沼美里

